

取扱説明書

IPS LEDモニター

(LEDモニター*)

このたびはLG製品をお買い求め頂きまして、誠にありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、ご理解のうえ正しくお使いください。

お読みになったあとは保証書と共に大切に保管してください

38WK95C
38BK95C

*LG の液晶モニターはLED バックライトを採用したLCD 製品です。

目次

ライセンス 3

組み立てと準備 5

- 同梱品 5
- サポートされているドライバーとソフトウェア 6
- 製品とボタンの説明 7
 - OSDジョイスティックの使用方法
 - 出力端子
- モニターの持ち運び 9
- モニターを設置する 11
 - スタンドを組み立てる
 - テーブルへの設置
 - スタンドの高さの調整
 - 角度の調整
 - ケーブルの整理方法
 - ケンジントン (Kensington) ロック
 - スタンド本体の取り外し
 - 壁掛け金具を取り付ける
 - 壁への取り付け

モニターの接続 21

- PC に接続する 21
 - HDMI接続
 - DisplayPort接続
 - USB Type-C接続
- AV 機器に接続する 24
 - HDMI接続
- 周辺機器の接続 24
 - USBケーブル接続
- 外部機器に接続する 25
 - ヘッドホンを接続する

ユーザー設定 26

- メインメニューの表示 26
 - メインメニューの機能
- ユーザー設定 28
 - [Menu]設定

トラブルシューティング 40

製品仕様 43

- 工場出荷時対応モード 45
- HDMIタイミング (動画) 46
- 電源LED 46
- Wireless モジュール (WB1NP6) 仕様 46

ライセンス

サポートされているライセンスは、モデルによって異なる場合があります。ライセンスの詳細については、www.lg.com/jpを参照してください。



HDMI、High-Definition Multimedia Interface、およびHDMIロゴは、米国およびその他の国における HDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または、登録商標です。



SuperSpeed USB Tridentロゴは、USB Implementers Forum, Incの登録商標です。



Bluetooth® ワードマークおよびロゴはBluetooth SIG, Inc.の登録商標です。LG Electronics Inc.はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。その他の商標およびトレードネームは、それぞれの所有者に帰属します。



電波について

この表示のある無線機器は、2.4 GHz帯を使用しています。変調方式としてFH-SS方式を採用し、与干渉距離は10 m です。

機器認定について

- ・ 本製品は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線設備として、認証を受けています。本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。

ただし、以下を行うと法律により罰せられることがあります。

- 本製品を分解、改造すること
- 本製品に貼られている認証ラベルをはがすこと
- ・ 本製品は2,400～2,483.5MHzまで使用できますが、以下の機器や無線局と同じ周波数帯を使用しています。
- 産業、および科学、医療用機器など
- 工場の製造ライン等で用いられる免許を要する移動体識別用無線局または、免許を要しない特定小電力無線局やアマチュア無線

本製品をご使用の前に、近くで上記に該当する無線が使用されていないか、ご確認ください。万が一、本製品との間に電波の干渉が発生した場合は本製品の使用する場所を変える、または使用を停止してください。

USB Type-C™ および USB-C™ は USB Implementers Forumの商標です。

下記の規定は、欧州市場で販売されているものに限り、ERP指令に対応できるモニターに適用します。

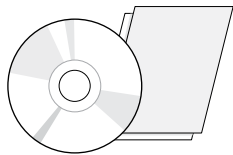
*本機はオンにした後、画像表示の調整動作がない場合は、4時間以内に自動的にオフになります。

*この設定を無効にするには、OSDメニューで [全般]>[自動スタンバイ]を[オフ] にしてください。

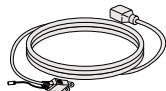
組み立てと準備

同梱品

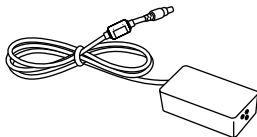
製品を使用する前に、すべての付属品が揃っているか確認してください。万が一、付属品が不足している場合は、製品を購入した販売店にお問い合わせください。本取扱説明書は日本で発売する製品を前提に作成されています。日本以外でお求めの場合、製品型番、製品の仕様、付属品等が異なることがあります。



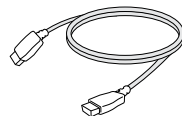
CD-ROM / および各種カード



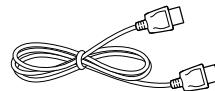
電源コード



AC/DCアダプター



HDMIケーブル



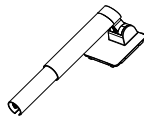
DisplayPortケーブル



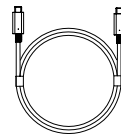
スタンドベース



ケーブルホルダー



スタンドネック



USB Type-C ケーブル



USB C-A変換コネクタ

 注意

- ・製品を安全に長くお使いいただくため、付属品以外のアクセサリは使用しないでください。
- ・付属品以外の使用による破損やケガは、保証の対象外になります。
- ・弊社推奨品以外の汎用ケーブルを使用すると、画面が映らなかったり画像にノイズが発生する場合があります。

 ヒント

- ・イラストはイメージです。実際のものとは若干異なる場合があります。
- ・この取扱説明書に記載されているすべての情報および仕様は、製品品質向上の目的で事前の予告なしに変更されることがあります。

サポートされているドライバーとソフトウェア

本製品はLGエレクトロニクスが提供する、モニターをより便利に活用できるソフトウェアを使用することが出来ます。

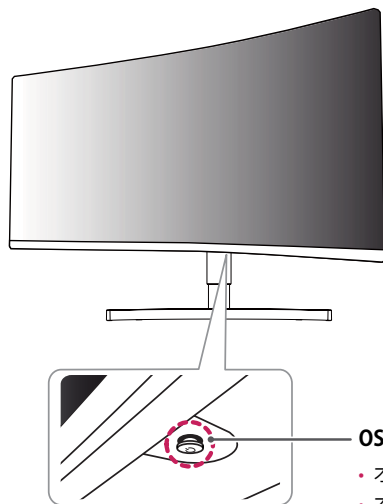
ソフトウェアは弊社ホームページよりダウンロードしてください。

ドライバーとソフトウェア	インストールの優先順位	38WK95C 38BK95C
モニタードライバー	推奨	O
ASMドライバー	必須	X
OnScreen Control	推奨	O
Dual Controller	オプション	O
True Color Pro	オプション	X

- ① LGエレクトロニクスのホームページ(www.lg.com)にアクセスします。
- ② ページ最上部の[サポート]から[ソフトウェアダウンロード]をクリックします。
- ③ [モデル番号を入力してください。]に、モデル番号(製品の型番)を入力します。
- ④ 本製品に対応するソフトウェアまたはデバイスドライバが表示されるので、使用しているOSをご確認の上、ファイルを選択してください。

※ ホームページ(www.lg.com)のダウンロードの手順、レイアウト、構成は変更される場合があります。

製品とボタンの説明



OSDジョイスティック/電源LED

- ・ オン:電源オン
- ・ オフ:電源オフ

OSDジョイスティックの使用方法

OSDジョイスティックを指で押したり、前後左右に動かすことで各種機能を簡単に操作できます。

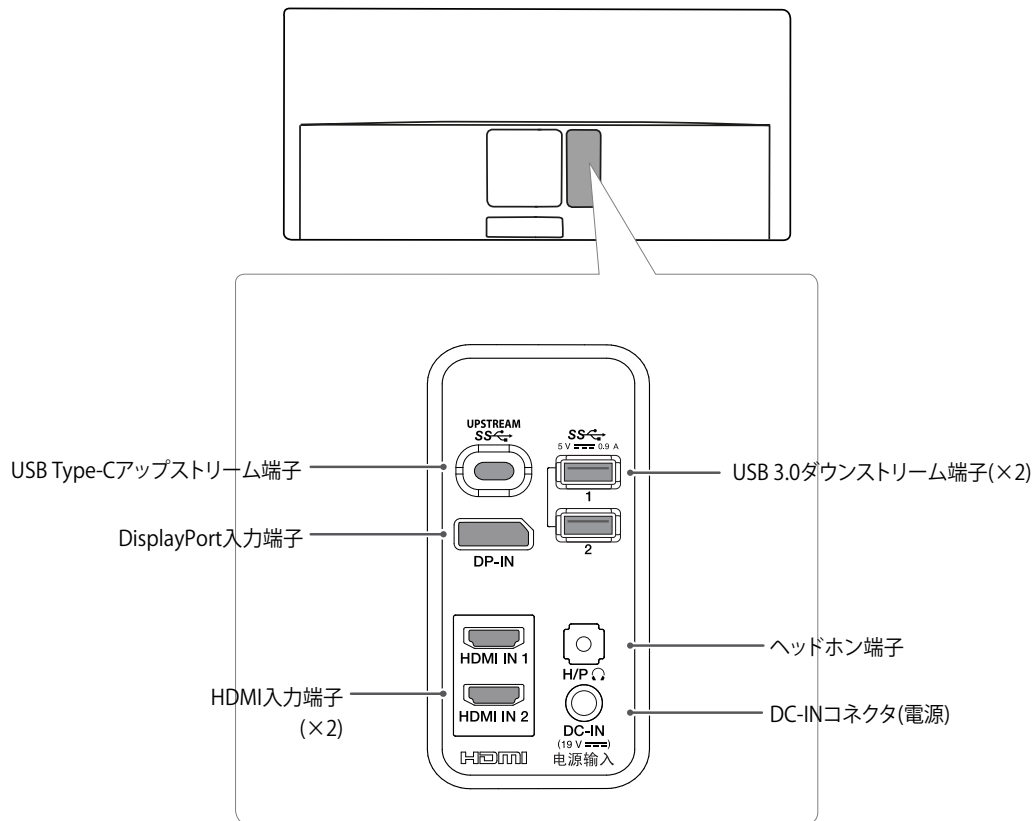
基本機能

		電源オン	OSDジョイスティックを指で押すと、モニターの電源がオンになります。
		電源オフ	OSDジョイスティックを指で押し続けると、モニターの電源がオフになります。
		音量コントロール	OSDジョイスティックを左右に動かすことで音量を調整できます。

✓ ヒント

- ・ OSDジョイスティックはモニターの底面に付いています。
- ・ OSD: On Screen Display (オンスクリーンディスプレイ)。

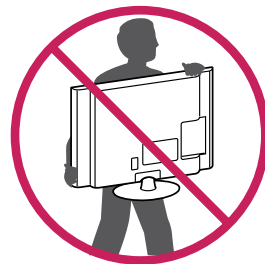
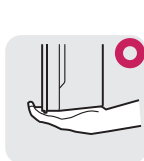
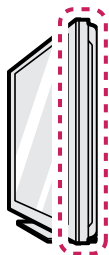
出力端子



モニターの持ち運び

モニターを動かしたり持ち上げる際は、以下に注意して、モニターに傷などが付かないよう、安全に運んでください。

- ・モニターの梱包に使用されていた箱や梱包材を使用してモニターを運ぶことをおすすめします。
- ・モニターを動かしたり持ち上げたりする前に、電源コードとケーブルをすべて外してください。
- ・モニターのフレームの上下をしっかりと持ち、液晶パネル(画面)には触れないようにしてください。

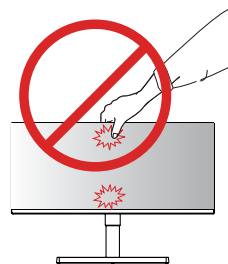


- ・モニターを持つ場合、画面に触れないようモニターの背面を持ち、画面に傷が付かないようにしてください。
- ・モニターを運ぶ際は、モニターに衝撃を与えたり、過度な振動を与えないでください。
- ・モニターを運ぶ際は、モニターを垂直にして持ち、横にしたり左右に傾けたりしないでください。

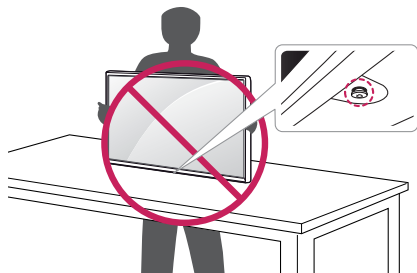


注意

- ・モニター画面には触れないでください。
- 画面に傷が付いたり、液晶が損傷する恐れがあります。



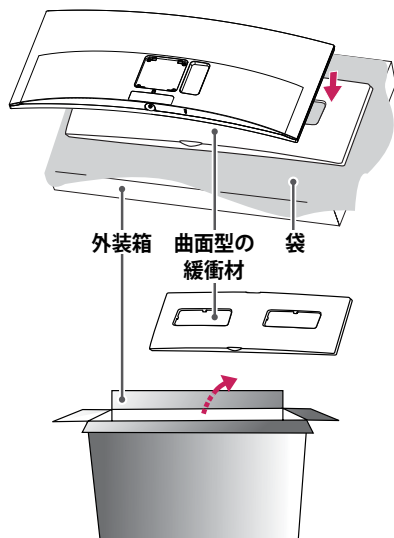
- ・ モニターの底面には OSD ジョイスティックがあるため、スタンドを使用しないとモニターが倒れるおそれがあり、モニターの損傷またはケガの原因となります。また、OSD ジョイスティックが破損するおそれがあります。



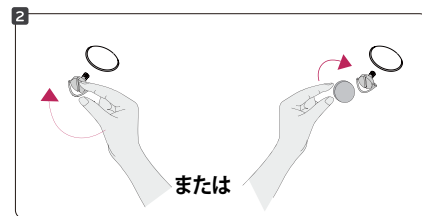
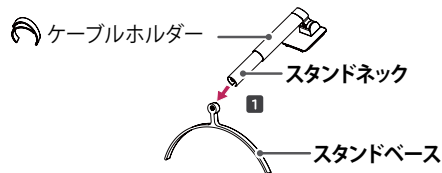
モニターを設置する

スタンドを組み立てる

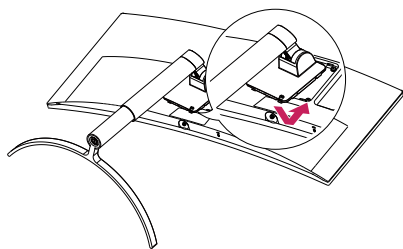
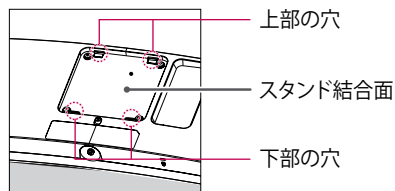
- 1 外装箱とモニターの梱包に使用されている袋、曲面型の緩衝材を下図のイラストのように置き、その上にモニターを置きます。モニターは、画面を下に向けて緩衝材の上に置きます。



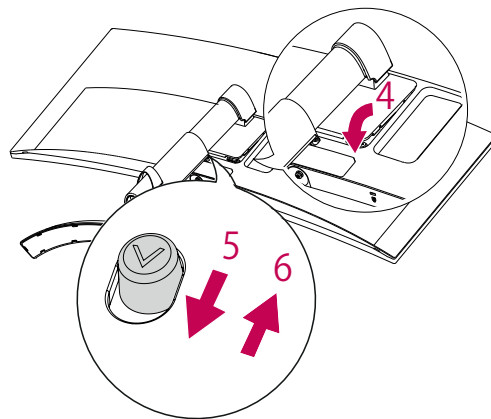
- 2 最初にスタンドネックにケーブルホルダーを取り付けます。スタンドネックにスタンドベースを取り付けて、スタンドベース底面のネジをコインまたは手回しで時計回りに締めて固定します。



- 3 モニターにスタンドを取り付けます。下のイラストのように、まずスタンドを斜めに傾けて、スタンド結合面の上部の穴とスタンド上部のツメを合わせます。



- 4 スタンド結合面上部の穴にスタンドのツメが入ったことを確認して、スタンドがモニターと平行になるようにして、スタンド結合面下部の穴に、スタンド下部のツメを合わせます。
- 5 下部のツメを入れる過程でスタンド結合面の下にあるボタンが一度下がります。
- 6 ツメがしっかりと入ると、ボタンが元の位置に戻ってスタンドが固定されます。

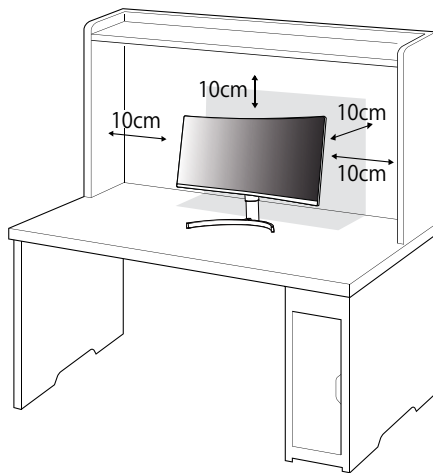


**注意**

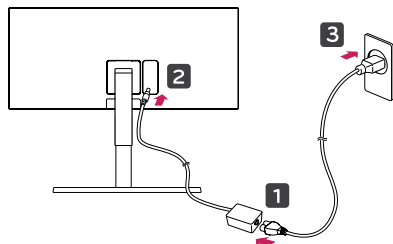
- モニターの組み立ての際は、製品の破損やケガに十分に注意して作業してください。
- 本書で使用されているイラストはイメージです。実際の製品とは若干異なる場合があります。
- ネジを留めるときに過剰な力を加えると、モニターが損傷するおそれがあります。過度な締め付けによって、破損が生じた場合は保証の対象外になります。
- モニターを上下逆さにした状態でスタンドベースをつかんで持ち運ばないでください。モニターがスタンドから外れて落下し、モニターの損傷やケガをすおそれがあります。
- モニターを持ち運ぶ際は、モニター画面には触れないでください。液晶パネルが破損する場合があります。スタンドまたはフレーム部分をつかんでください。

テーブルへの設置

- 1 モニターを持ち上げ、直立させた状態でテーブルに置きます。十分な通気性を確保するため、背後および周囲10cm以上の空間を空けて設置してください。



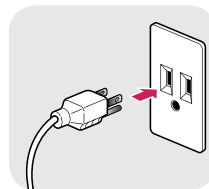
- 2 最初に電源コードとAC/DCアダプターを接続し、モニター背面のDC-INにAC/DCアダプターの端子を接続します。最後に電源コードをコンセントに差し込みます。



- 3 モニター本体下部のOSDジョイスティックを押して電源をオンにします。

**注意**

- モニターの移動や設置は、電源コードを抜いてから行ってください。感電するおそれがあります。

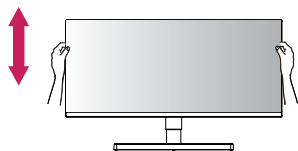
電源コードの接続に関する注意事項

交流100V

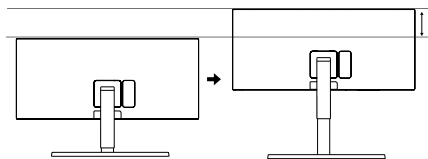
- 電源は、AC100V (50/60Hz) のコンセント を使用して下さい。指定以外の電源を使用すると火災の原因になることがあります。
- 製品パッケージ付属の電源コードを使用して、アース付きコンセントに接続してください。

スタンドの高さの調整

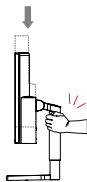
- 1 スタンドベースに取り付けたモニターを直立させた状態にします。
- 2 モニターの左右背面側に手を添えて高さを調整します。(液晶パネルには触れないようにしてください。)



最長100.0 mm



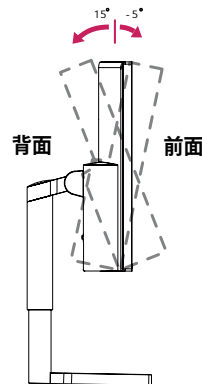
警告



- 画面の高さを調整するとき、画面とスタンドベースの間に手を置くと、はさんでケガをするおそれがあります。スタンドベースの上に手を置かないようにしてください。

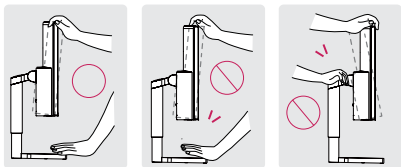
角度の調整

- 1 スタンドに取り付けたモニターを直立させた状態で設置します。
- 2 画面を前後(-5°から+15°)に調整して、見やすい角度にします。

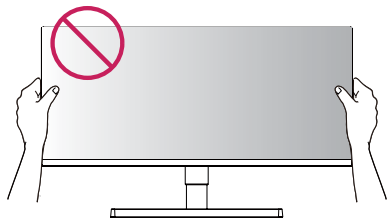


！ 警告

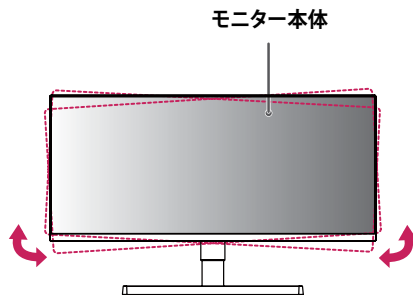
- 画面の角度を調節するときは、スタンドベースとモニター本体の間に指や手を置かないでください。はさんで負傷をする恐れがあります。



- 画面の角度を調整するときは、フレームを持って調整してください。画面のパネルには触れないようにしてください。

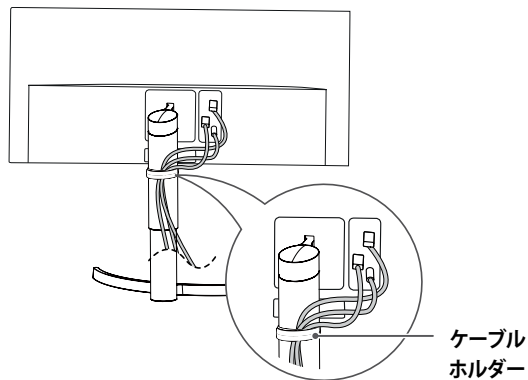
**✓ ヒント**

- モニターは左右に少し(最大 3°)傾けることができます。画面が水平になるように微調整してください。



ケーブルの整理方法

イラストのようにケーブルホルダーで、ケーブル類をまとめることをお勧めします。



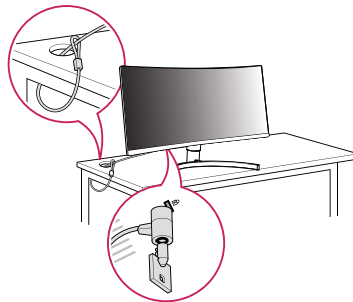
ケンジントン (Kensington) ロック

ケンジントンロック用のスロットは、モニターの底部にあります。

取り付けおよび使用方法については、ケンジントンロックの取扱説明書を参照するか、ケンジントン社のホームページをご覧ください。

ケンジントンセキュリティシステムケーブルを使用してモニターをテーブルに固定します。

ケンジントン社ホームページ: <http://www.kensington.com>

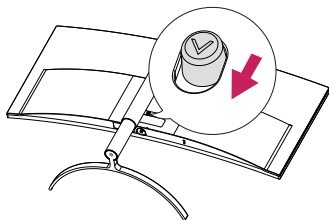


ヒント

ケンジントンロックのお求めは通販サイトを参照いただくか、最寄りのPCショップや家電量販店にお問い合わせください。

スタンド本体の取り外し

- 1 モニターの破損を防ぐため、柔らかい布の上に曲面型の緩衝材(11ページ参照)を置き、その上にモニターの画面を下に向けて置きます。
- 2 モニター背面の底部中央にあるボタンを下に押し、モニターをスタンドから取り外します。



壁掛け金具を取り付ける

壁にモニターを取り付けるには、モニターの背面に壁掛け用金具(別売)を取り付けます。

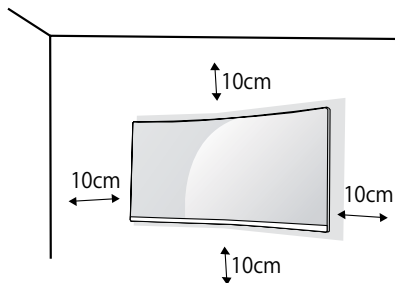
- 1 モニターの破損を防ぐため、柔らかい布の上に曲面型の緩衝材(11ページ参照)を置き、その上にモニターの画面を下に向けて置きます。
- 2 スタンド結合面にある4本のネジを取り外します。
- 3 モニター背面に壁掛け用金具を置き、モニターのネジ穴に合わせます。
- 4 ドライバーで4箇所ネジ止めて、モニターと金具を固定します。

✓ ヒント

- 壁かけに必要な部品やマニュアルは、壁掛け金具に付属されています。設置に関する詳細は、壁掛け金具のマニュアルを参照してください。
- 壁掛け金具を使用する際は、壁掛け金具に付属するもの、または、適合するネジを使用してください。
- 定められた長さを超過したネジを使用すると、モニターの内部が損傷する恐れがあります。

壁への取り付け

適切な通気性を確保するため、背後および周囲10cm以上の空間を空けて設置してください。設置に関しては、壁掛け金具のマニュアルを参照してください。



モニターを壁に取り付ける場合は、壁掛け金具(別売)をモニターの背面に取り付けます。

壁掛け金具がモニターおよび壁にしっかりと固定されていることを確認してください。

- 1 適合しないネジを使用すると、モニターの内部が損傷するおそれがあります。
- 2 VESA規格以外のネジを使用すると、モニターの破損や落下の原因になるおそれがあります。対象となるネジ以外を使用したことによる事故については、保証の対象外となります。

壁掛け(mm)	100 x 100
標準のネジ	M4 x L10
必要なネジの数	4

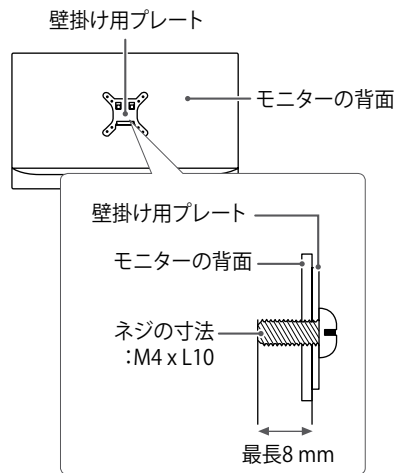
✓ ヒント

- 壁かけに必要な部品やマニュアルは、壁掛け金具に付属されています。設置に関する詳細は、壁掛け金具のマニュアルを参照してください。
- 壁掛け用金具は別売品です。追加の付属品については、PC専門店や家電量販店などでご購入できます。
- ネジの長さは取り付ける壁の状態や素材によって異なります。適切な種類と長さのネジを使用してください。

⚠ 注意

- 移動や設置は先に電源コードと信号ケーブルを外してから行ってください。ケーブルを取り外さずに移動、設置すると落下してケガや感電のおそれがあります。
- モニターは天井や傾斜面には取り付けないでください。落下して重大なケガをする恐れがあります。
- 壁掛け金具を使用する際は、壁掛け金具に付属するもの、または、適合するネジを使用してください。
- 定められた長さを超過したネジを使用すると、モニターの内部が損傷する恐れがあります。
- 正規品以外の壁掛け金具を使用したり、ネジの締め過ぎ等による損傷は保証の対象外となりますので注意してください。
- 取り付けの不備による製品の損傷または落下した場合は保証の対象外となりますので十分ご注意の上、作業してください。

- VESA規格に準拠した壁掛け用プレートとネジを使用してください。不適切な付属品の使用、または誤った使用方法による損傷の場合は、本製品の保証の対象にはなりません。
- 壁掛け用のネジ穴の深さは8mmです。



モニターの接続

- 本書で使用されるイラストはイメージです。実際の製品とは若干異なる場合があります。

OSDジョイスティックを押し、**[設定]** → **[入力]**の順に選択し、映像が出力される機器に接続した端子を選択します。

⚠ 注意

- 液晶パネルに触れないでください。映像が乱れることがあります。
- 映像の焼き付きを防ぐため、スクリーンセーバーなどを使用して、画面に同じ画像を長時間表示しないでください。

✓ ヒント

- 電源コードをコンセントに接続する際には、アース付きマルチソケットまたはコンセントをご使用ください。
- 本機が冷えた状態で電源を入れたと、画面にちらつきが発生する場合がありますが、これは正常な動作です。通電して温度が上昇すれば、正常な状態に戻ります。
- 画面に赤、緑、または青の点が表示されることがありますが、これは液晶パネルの特性であり、製品不良、故障ではありません。

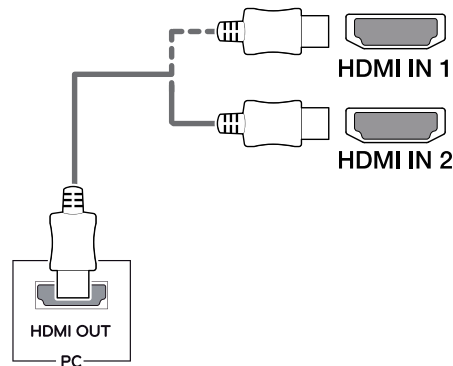
PC に接続する

本機は、プラグアンドプレイに対応しています。

- * プラグアンドプレイ: PC に機器を接続して電源を入れたと、設定や操作をなくとも、PC で認識してOS の標準ドライバがインストールされます。

HDMI接続

PC とモニターをHDMI 端子でデジタル接続します。下のイラストのように、PC とモニターをHDMI ケーブルで接続します。OSD ジョイスティックを押してOSD メニューを表示し、**[入力]**から接続しているHDMI 端子(**[HDMI 1]**または**[HDMI 2]**)を選択します。

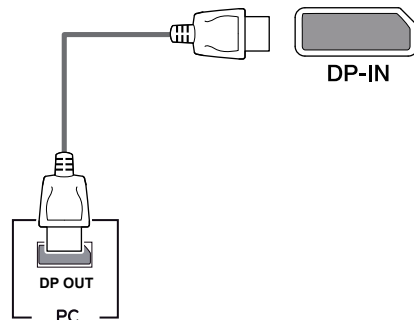


注意

- PC を HDMI で接続した場合、まれに互換性の問題が発生することがあります。
- HDMI-DVIやHDMI-DisplayPortなどの変換ケーブルまたは変換コネクタを使用した場合、互換性の問題が発生する場合があります。
- HDMI ロゴの付いた規格が保証された HDMIケーブルをご使用ください。HDMI Licensing LLC で認証されていないHDMI ケーブルやハイスピードでない標準HDMI ケーブルを使用すると、正常に動作しないことがあります。
- 推奨のHDMIケーブルのタイプ
 - ハイスピードHDMI®/TMケーブル
 - イーサネット対応ハイスピードHDMI®/TMケーブル

DisplayPort接続

PCとモニターをDisplayPort 端子でデジタル接続します。下のイラストのように、PCとモニターをDisplayPort ケーブルで接続します。OSD ジョイスティックを押してOSD メニューを表示し、**[入力]**から**[DisplayPort]** を選択します。

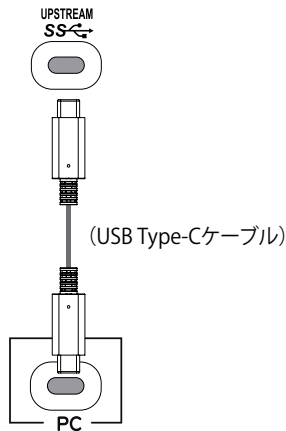


ヒント

- PCのDisplayPortのバージョンによっては、映像出力または音声出力に対応していないことがあります。
- 製品に付属のDisplayPortケーブルを使用していることを確認してください。それ以外のケーブルの使用は誤作動の原因になることがあります。
- LGが推奨していない汎用ケーブルを使用すると、画面が表示されなかったり画像にノイズが発生する場合があります。

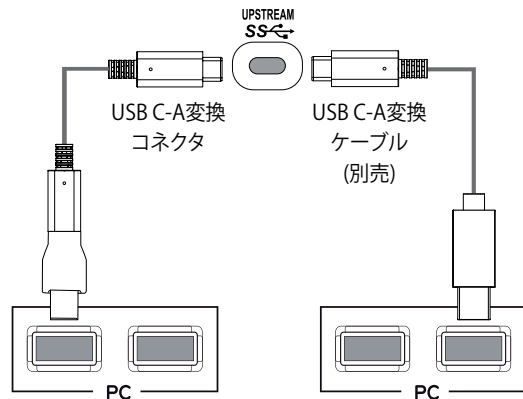
USB Type-C接続

PC から映像信号や音声信号、データを転送します。下のイラストのようにモニターとPCをUSB Type-C ケーブルで接続します。OSDジョイスティックを押してOSD メニューを表示して、**[入力]**から**[USB-C]**を選択します。



ヒント

- USB Type-C 端子は以下の機能がサポートされています。
 - USB PD(Power Delivery、電力供給)
 - DisplayPort Alternate Mode(映像信号入力)
 - USB データ転送
- 接続機器の規格及び環境によって機能が利用できない場合があります。
- USB Type-C 端子はモニター電源のためではなく、PCの電源用です。モニターはAC/DC アダプターを接続して電力を供給します。

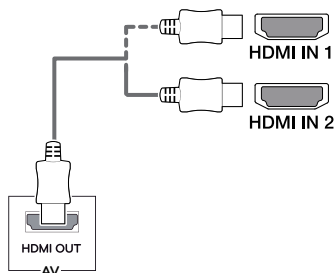


AV 機器に接続する

HDMI接続

AV 機器とモニターをHDMI 端子でデジタル接続します。下のイラストのように、PC とモニターをHDMI ケーブルで接続します。

OSD ジョイスティックを押してOSD メニューを表示し、**[入力]**から接続しているHDMI 端子(**HDMI 1**)または(**HDMI 2**)を選択します。



✓ ヒント

- 製品に付属のHDMIケーブルを使用していることを確認してください。それ以外のケーブルの使用は誤作動の原因になることがあります。
- HDMI ロゴの付いた規格が保証された HDMIケーブルをご使用ください。保証されていないHDMI ケーブルやハイスピードでない標準HDMI ケーブルを使用すると正常に動作しないことがあります。
- 次のHDMIケーブルのご使用を推奨します。
 - ハイスピードHDMI®/TMケーブル
 - イーサネット対応ハイスピードHDMI®/TMケーブル

周辺機器の接続

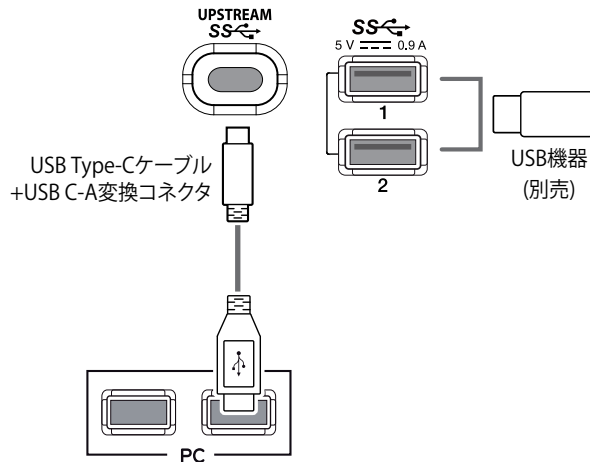
USBケーブル接続

USBダウンストリーム端子は、USBハブとして機能します。

USB Type-Cケーブル、または**USB Type-C変換ケーブル(Type-A)**、PCに接続してください。

USB 3.0を使用する場合は、本製品付属の**USB Type-Cケーブル**と**USB C-A変換コネクタ**でPCに接続します。

USB ダウンストリーム端子に接続された周辺機器をPCから操作できます。





ヒント

- ・使用する前に、PCに最新のWindows OSサービスパックがインストールされていることを確認してください。
- ・周辺機器は別売りです。
- ・キーボード、マウス、USBデバイスをUSBダウンストリーム端子に接続できます。
- ・充電速度はUSBデバイスによって異なります。
- ・モニターのダウンストリーム端子を使用する場合は、PCのUSB端子とモニターのアップストリーム端子をUSB Type-Cケーブルまたは、USB Type-C-A変換ケーブルで接続してください。
- ・モニターのアップストリーム端子とPCのUSB Type-C端子をUSB Type-Cケーブルで接続した場合、モニターのダウンストリーム端子はUSB2.0として動作します。
- ・モニターのアップストリーム端子とPCのType-A端子を変換ケーブルで接続した場合、モニターのダウンストリーム端子はUSB3.0として動作します。(PCのUSB端子がUSB3.0に対応している場合のみ)



注意

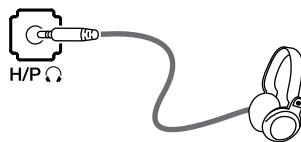
USBデバイス使用時の注意事項

- ・自動認識プログラムがインストールされているUSBデバイスや独自のドライバーを使用するUSBデバイスの場合、デバイスが認識されないことがあります。
- ・すべてのUSBデバイスの動作を保証するものではありません。
- ・電源アダプタのあるUSBハブまたはハードディスクドライブを使用することをお勧めします（供給電力が十分でない場合、USBデバイスが正しく認識されないことがあります）。

外部機器に接続する

ヘッドホンを接続する

ヘッドホン端子(ミニプラグ)に、ヘッドホン、イヤホン、スピーカーなどを接続できます。



(別売り)

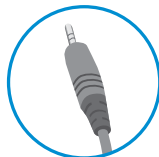


ヒント

- ・周辺機器は別売りです。
- ・オーディオ用ミニプラグの形状はストレートタイプのプラグの使用をお勧めします。L字型になっているコネクタの場合、モニターに当たり差し込めなかったり、他の端子をふさいでしまう場合があります。



L型タイプ



ストレートタイプ

- ・PCおよび外部機器のオーディオ設定によっては、ヘッドホンおよびスピーカの機能が制限されることがあります。

ユーザー設定

メインメニューの表示

- 1 モニターの底面にあるOSD ジョイスティックを押します。
- 2 OSDジョイスティックを前後(▲/▼)、左右(◀/▶)に倒して各種設定を行います。
- 3 OSDジョイスティックをもう一度押すとメインメニューが終了します。



ボタン	メニューの状態		説明
	メインメニュー非表示時		メインメニュー を表示します。
	メインメニュー表示時		メインメニュー を終了します。 (長押しするとモニターがオフになります。)
	◀	メインメニュー非表示時	スピーカーまたはヘッドホン端子に接続した音声機器の音量を調節します。
		メインメニュー表示時	[入力]に移動し、画面に表示する入力端子を選択します。
	▶	メインメニュー非表示時	スピーカーまたはヘッドホン端子に接続した音声機器の音量を調節します。
		メインメニュー表示時	[設定]に移動し、モニターの各種設定を行います。
	▲	メインメニュー非表示時	現在の入力に関する情報を表示します。
		メインメニュー表示時	モニターをオフにします。
	▼	メインメニュー非表示時	[入力]元を変更します。
		メインメニュー表示時	[ゲーム]に移動します。

メインメニューの機能



メインメニュー	説明
入力	表示させる入力端子を選択します。
電源オフ	モニターをオフにします。
設定	設定メニューを表示します。
ゲーム	ピクチャーモードをゲームのジャンルに合わせたモードに変更することができます。
終了	メインメニューを終了します。

ユーザー設定

[Menu]設定

- 1 設定の表示はモニター底面にある設定ジョイスティックを押します。
 - 2 設定ジョイスティックを右 (▶) に倒して、**[設定]**を選択すると、設定メニューが表示されます。
 - 3 設定ジョイスティックを前後左右に倒して、カーソルを移動させて目的の設定項目を選択します。
 - 4 目的の設定項目上で設定ジョイスティックを押すと設定項目の表示や決定ができます。
 - 5 設定メニューを終了させる場合は、設定ジョイスティックを左 (◀) に数回(設定メニューの階層によります)倒します。
- OSDメニューの下にOSDジョイスティックの操作方法が表示されます。



クイック設定



入力



画質



サウンド



全般



注意

- 実際のモニターのOSD (オンスクリーンディスプレイ) は、アップデート等により、本取扱説明書と多少異なる場合があります。

[クイック設定]の設定メニュー

[設定] > [クイック設定]	説明	
明るさ	画面の明るさとコントラストを調整します。	
コントラスト	ピクチャーモードが[ユーザー設定]、[ユーザー設定(ゲーム)]以外に設定されているとき、[PBP]が有効のときは[コントラスト]の調整は出来ません。	
音量	内蔵スピーカーまたはヘッドホン端子に接続した外部音声出力機器の音量を調節します。  ヒント ・ [音量]メニューが表示されているときにジョイスティックボタンを▼の方向へ動かすと、[ミュート]/[ミュートを解除]を設定できます。 ・ Bluetoothオーディオで利用できる最小および最大音量は、モニターのOSDの音量に依存します。	
色温度	ユーザー設定	[赤]、[青]、[緑]で設定したお好みの画質を表示します。
	Warm[暖色]	画面の色温度を暖色系(より赤い)に設定します。
	Medium[中間]	画面の色温度を中間に設定します。
	Cool[寒色]	画面の色温度を寒色系(より青い)に設定します。
スクリーンオフ	画面をオフにして、接続している入力元またはBluetoothデバイスからの音声のみを再生します。画面がオフになっても音声は再生し続けます。  ヒント ・ 画面をオンに戻すには、モニターの底面にあるジョイスティックボタンを押します。	
Bluetoothオーディオ	以前に接続したBluetoothデバイスに再接続するか、すでに接続しているBluetoothデバイスを切断します。  ヒント ・ モニターは以前Bluetoothデバイスに接続していた場合のみ、再接続できます。	

[入力]の設定メニュー

[設定] > [入力]	説明	
メイン画面入力選択	各入力端子に接続されている機器を選択します。選択した端子の映像を画面に出力します。	
アスペクト比	画面の縦横比を調整します。	
	全画面	映像ソースの解像度に関係なく画面全体に表示します。
	オリジナル	映像ソースのアスペクト比を保持して画面最大に表示します。
	1:1	映像ソースの解像度で表示します。
	シネマ1	画面を 21:9 に拡大します。映像ソースのアスペクト比が 21:9 以下の場合、上下が切れて表示されます。(1080p のとき)
	シネマ2	画面を 21:9 に拡大します。[シネマ1] に設定したときに、字幕が表示されない場合は、こちらを選択すれば字幕まで表示させることができます。(1080p の場合)
	 ヒント	
	- 推奨解像度 (3840 x 1600) で表示している場合は、[全画面]、[オリジナル]、[1:1] を設定 していても、表示される映像は変わりません。 - FreeSync機能が有効になっている場合、[1:1]、[シネマ1]、[シネマ2]は設定できません。([画質]→[ゲーム機能設定]→[FreeSync]の設定が[オン]の場合は、[オフ]に設定してください)	
	PBP	1台のモニターに、接続された2つの機器を同時に表示するPBP(Picture by Picture)と、通常の1画面を切り替えます。
メイン/サブ画面切替	[PBP]モードのメイン画面とサブ画面を切り替えます。	
メイン/サブ音声切替	[PBP]モードのメイン画面とサブ画面の音声を切り替えます。	

[PBP]有効時の設定メニュー

[設定] > [入力]		説明						
入力選択	メイン画面入力選択	ひとつの画面に、接続された二つの機器を同時に表示します。						
	サブ画面入力選択							
	PBP接続		サブ画面(右)					
			HDMI 1	HDMI 2	DisplayPort	USB-C		
			メイン画面(左)	HDMI 1	-	X	O	O
				HDMI 2	X	-	O	O
DisplayPort	O	O		-	X			
USB-C	O	O		X	-			
アスペクト比	画面の縦横比を調整します。							
	メイン画面 アスペクト比	全画面	映像信号の入力に関係なく、PBP画面全体に映像を表示します。					
		オリジナル	映像信号入力の画面サイズで、PBP画面に映像を表示します。					
	サブ画面 アスペクト比	全画面	映像信号の入力に関係なく、PBP画面全体に映像を表示します。					
		オリジナル	映像信号入力の画面サイズで、PBP画面に映像を表示します。					
PBP	1台のモニターに、接続された2つの機器を同時に表示するPBP(ピクチャー・バイ・ピクチャー)と、通常の1画面表示を切り替えます。							
メイン/サブ画面切替	[PBP]モードのメイン画面とサブ画面を切り替えます。							
メイン/サブ音声切替	[PBP]モードのメイン画面とサブ画面の音声を切り替えます。							



ヒント

- ・[PBP]機能を使用しない場合、[メイン/サブ画面切替]および[メイン/サブ音声切替]の設定項目が無効になります。
- ・[PBP]機能を使用している場合、HDR機能は無効になります。

[画質]の設定メニュー

[設定] > [画質]	説明	
ピクチャーモード	ユーザー設定	[画像調整] で設定した色合いを表示します。
	ブルーライト 低減モード	画面表示を紙のような質感で表示するモードです。より明るく見やすい画質にしたい場合には、OSD メニューで[明るさ]の調節ができます。
	フォト	写真の観賞に適した画質を表示します。
	シネマ	動画の観賞に適した画質を表示します。
	HDR効果	通常の映像(SDR)をHDRに近い画質で表示します。
	自動輝度調整 1	輝度(明るさ)を下げて、暗い環境に適した明るさで表示します。
	自動輝度調整 2	[自動輝度調整1]よりもさらに輝度(明るさ)を下げて表示します。
	色覚調整	P 型及びD 型の色覚用のカラーモードです。赤色、緑色の表示を区別できるように配色されます。
	FPSモード1	FPS(First Person Shooting) ゲームに最適化されたモードです。
	FPSモード2	ブラックスタビライザーの値が[FPSモード1]より強く設定されています。画面が暗いFPSゲームに最適化されたモードです。
	RTSモード	RTS(Real Time Strategy) ゲームに最適化されたモードです。
	ユーザー設定 (ゲーム)	[ゲーム機能設定]の設定を適用するモードです。
 ヒント • DisplayPort入力の映像を表示してときにピクチャーモードを変更した場合、画面がちらついたり、OSの解像度に影響することがあります。		

HDR信号受信時の[画質]の設定メニュー

[設定] > [画質]	説明	
ピクチャーモード	HDR(鮮やか)	HDRの映像をより鮮やかに表示します。
	HDR(標準)	HDR映像に最適化した画質で表示します。
	HDR(ゲーム)	HDR対応ゲームに最適化した画質で表示します。
	HDR(シネマ)	HDR対応映画および動画に最適化した画質で表示します。



ヒント

- OS(Windows 10)の設定によっては、HDRの設定が適切に操作できないことがあります。Windows 10のHDRに関する設定のオン/オフを確認してください。
- グラフィックカードの性能によっては、モニターのHDRに関する機能が有効のときに、文字や写真の表示品質が正常に表示されない場合があります。
- グラフィックカードのによっては、モニターのHDRに関する機能が有効のときに、[入力]を変更したり電源をオンにした際に、画面が点滅したりちらつきが発生する場合があります。

[設定] > [画質]		説明	
画像調整	明るさ	画面の明るさとコントラストを調整します。	
	コントラスト		
	シャープネス	画面のシャープさを調整します。	
	SUPER RESOLUTION+	High	最も強いレベルで超解像をかけ、画質を最適化します。 高品質な動画やゲームにも効果的です。
		Middle	[High]と[Low]の中間レベルに超解像をかけ画質を最適化します。SD画質の動画再生時などに適しています。
		Low	滑らかで自然な画質に最適化して表示します。動きの少ない動画や静止画像に効果的です。
		オフ	超解像をオフにします。
		 ヒント ・ この機能は解像度の低い映像を鮮明に表示する機能です。通常のテキストやデスクトップのアイコンなどを表示する場合、鮮明になりすぎることで、かえって見づらくなる場合があります。	
	ブラックレベル	モニターで表示できるもっとも暗い色のレベルを調整します。 (HDMI 接続のみ)	
		High	映像信号の情報をそのまま表示します。
		Low	暗い部分が暗くなり、シャープな色合いで表示されます。
	DFC	オン	明るさとコントラストを映像に合わせて自動的に調整します。
		オフ	[DFC]機能を無効にします。

[設定] > [画質]		説明	
ゲーム機能設定	応答速度	パネルスペックの応答速度から、オーバードライブ回路で応答速度を高速化させます。 標準的な環境の場合、[Fast]を使用することをお勧めします。 動きの速い映像の場合、[Faster]を使用することをお勧めします。 [Faster]に設定すると、残像（オーバーシュート）が発生することがあります。その場合は、表示ソースに合わせて適切な速度に設定してください。	
		Faster	画面の応答速度が高速になります。
		Fast	液晶パネルの応答速度を中程度高速にします。
		Normal	液晶パネルの応答速度を少し高速にします。
		オフ	オーバードライブをオフにして、パネルの基本速度になります。
	FreeSync	AMD FreeSync™テクノロジー は、映像のフレームレートとモニターのリフレッシュレートを自動的に同期させる機能です。 フレームレートが一定でない映像（ゲームなど）を表示したときに発生するティアリング（ちらつき）やスタッタリング（カクつき）を抑えることができます。  注意 ・ DisplayPort, HDMI接続のみ対応可能です。 ・ この機能を使用するためには、対応APUを搭載したPCまたはGPUを搭載したグラフィックカードが必要です。 ・ AMDのグラフィック用ドライバー「Radeon Software Crimson」を最新バージョンに更新してください。 ・ FreeSync機能を使用する場合は、Radeon Software CrimsonのFreeSyncの設定を有効にする必要があります。 ・ 詳細な情報は、AMD社の公式サイトをご覧ください。（検索エンジンで「FreeSync」で検索してAMD社の公式サイトを参照してください。）	
		オン	[FreeSync]機能を有効にします。  ヒント ・ [FreeSync]機能をオンに設定すると、明るさが減少します。
		オフ	[FreeSync]機能を無効にします。
	ブラック スタビライザー	見えづらい画面の暗い部分を明るく表示し、視認性を高めます。 高い数値に設定すると、暗い部分が見えやすくなり、減らすと明暗の差が大きくなり鮮明な画像表示になります。	

[設定] > [画質]	説明		
カラー調整	ガンマ	モード1 モード2 モード3	ガンマ値を補正します。[モード1] に設定すると中間色が明るく、[モード3] に設定すると中間色が暗く表示されます。
		モード4	ガンマ値の調整が必要ない場合は、[モード4]を選択してください。
	色温度	ユーザー設定	[赤][緑][青]で設定した色合いで表示します。
		Warm[暖色]	画面の色温度を暖色系(より赤い)に設定します。
		Medium[中間]	画面の色温度を中間に設定します。
		Cool[寒色]	画面の色温度を寒色系(より青い)に設定します。
	赤	RGB各色の強弱を手動で設定します。	
	緑		
	青		
	6色相環	6色相環(赤、緑、青、シアン、マゼンタ、イエロー)の色合い、彩度を調整して、より詳細なお好みの色を設定できます。	
		色合い	各色の色相を調節します。
		彩度	各色の彩度を調整します。指定色の値を大きな数値に設定すると、その色味が強くなり、小さな数値に設定すると色味を失いグレーに近い色合いになります。
スクリーンオフ	モニターのバックライトをオフにして、接続している入力元またはBluetoothデバイスからの音声のみを再生します。		
ピクチャーモード 初期化	色の設定を工場出荷時の初期設定に戻します。リセットを実行すると設定されていた項目がすべて初期状態になりますので、ご注意ください。		

[サウンド]の設定メニュー

[設定] > [サウンド]	説明	
音量	音量を調節します。  ヒント • [音量]メニューが表示されているときにジョイスティックボタンを動かすと、[ミュート]/[ミュートを解除]を調節できます。 • Bluetoothオーディオで利用できる最小および最大音量は、モニターのOSDの音量に依存します。	
Bluetoothオーディオ	オン	以前接続していたBluetoothデバイスに接続します。
	オフ	すでに接続しているBluetoothデバイスを切断します。

 ヒント

- Bluetoothデバイスが接続している間、入力信号がない場合、10分間メッセージが表示されます。
- Bluetoothデバイスをストリーミングしている間、入力信号がない場合、モニターは節電モードに入らずにオフの状態になりません。

[全般]の設定メニュー

[設定] > [全般]	説明	
言語	OSDメニューなど、画面に表示される言語を選択します。	
SMART ENERGY SAVING	輝度補償アルゴリズムを用いて消費電力を抑えます。	
	High	効率の高い[SMART ENERGY SAVING]機能を使用して消費電力を節約します。
	Low	効率の低い[SMART ENERGY SAVING]機能を使用して消費電力を節約します。
	オフ	[SMART ENERGY SAVING]機能を無効にします。
電源LED	オン	電源LEDを自動でオンにします。
	オフ	電源LEDがオフになります。ただし、モニターの電源を入れたときに起動を通知するため一時点灯します。
自動スタンバイ	一定の時間が経過したときに、モニターを自動的に待機状態にします。待機するまでの時間を設定します ([オフ]、[4時間後]、[6時間後]、[8時間後])。	
HDMI互換モード	HDMI 互換モード機能は HDMI 2.0 をサポートしていない従来の機器を認識することができます。	
	オン	[HDMI 互換モード] を有効にします。
	オフ	[HDMI 互換モード] を無効にします。
	 ヒント - 接続されたデバイスが [HDMI 互換モード] をサポートしない場合、画面または音声は正常に動作できない可能性があります。 [HDMI 互換モード] が有効の場合、HDR 機能はサポートされません。 - HDMI2.0 に対応していないグラフィックカードを使用している場合でも、OS のコントロールパネルで HDMI2.0 で表示が可能な解像度に設定することができますが、画面が正常に表示されない場合があります。	
DisplayPort 1.2	[DisplayPort 1.2]を有効または無効にします。	
	 ヒント - DisplayPort入力端子にDisplayPort™ v1.2を適用するかを設定します。グラフィックカードがv 1.2に対応していない場合は、[使用しない]に設定してください。 - DisplayPort1.2が無効の時は、DisplayPort端子のバージョンはv1.1になります。10bitカラーおよびHDR機能はサポートされません。	

[設定] > [全般]	説明	
Beep音	モニターの電源をオンにしたときに鳴るピープ音のオン/オフを設定します。	
	オン	モニターのピープ音を有効にします。
	オフ	モニターのピープ音を無効にします。
OSDロック	OSD の設定可能な項目を制限します。	
	オン	設定項目に制限をかけます。 オンにしても設定が可能な項目は以下の通りです。 [クイック設定] > [明るさ] / [コントラスト] / [音量] [入力] > [表示情報] / [メイン画面入力選択] / [アスペクト比] / [PBP] / [自動入力切替] [全般] > [OSD ロック] 上記以外の項目を設定するときは、 [OSD ロック] をオフにしてください。
	オフ	[OSD ロック] を無効にします。
ディープスリープモード	ディープスリープモードを [オン] に設定すると、待機状態時の消費電力を最小限に抑えます。	
	オン	[ディープスリープモード] を有効にします。
	オフ	[ディープスリープモード] を無効にします。
	 ヒント ・ [ディープスリープモード] が [オン] の場合、モニターがスタンバイ状態のときに、USB端子に接続したデバイスは使用できません。	
表示情報	表示情報には、モデル、シリアルナンバー、電源投入時間合計、解像度 が表示されます。	
リセット	設定をリセットしますか？	
	No	リセットを行わず、メニューアイコンの選択に戻ります。
	Yes	初期設定(工場出荷時の設定)に戻します。リセットを実行すると設定されていた項目がすべて初期状態になりますので、ご注意ください。

トラブルシューティング

画面に何も表示されない	
画面に何も映らない	- 電源コードがコンセントに正しく接続されているかを確認してください。 - モニターの電源ボタンを押してモニターの電源が入っているかを確認してください。
電源をオンにして、電源ランプが点灯しているのに画面が映らない	接続機器が黒画面を出力している可能性があります。接続機器が正常に動作しているかを確認してください。
電源ランプが点滅している	- PC がスリープモードになっている可能性があります。マウスを動かすか、キーボードのいずれかのキーを押して、PC の省電力モードを解除させてください。 - PC の電源が入っているか確認してください。
画面に「 範囲超過 」と表示される	- PC (グラフィック カード) から伝送された信号が、モニターの水平走査周波数または垂直走査周波数の範囲から外れている場合、または出力されるOS の解像度がモニターより大きなサイズに設定されている場合に表示されます。 - 本取扱説明書の「製品仕様」を参照して、OS 上で適切な周波数または、解像度に設定してください。
画面に「 信号が見つかりません 」と表示される	- 信号ケーブルが接続されていないときに表示されます。PC またはモニターに正しくケーブルが接続されているかを確認してください。 - 入力端子が正しく選択されていない可能性があります。OSDジョイスティックを押してから左に倒して[入力]を選択して映像が出力されている端子になっているかを確認してください。
DisplayPort接続で映像が正しく表示されない	[DisplayPort1.2]の設定が[オン]になっている場合、DisplayPort1.1以前のバージョンの機器を接続すると、映像が正常に表示できない場合があります。[全般]>[DisplayPort1.2]の設定を[オフ]にしてください。各接続機器のDisplayPortのバージョンについては、機器の製造メーカーにお問い合わせください。

一部のOSDメニューの設定ができない	
OSD で設定できない項目がある	OSDがロックされています。[設定]>[全般]の順に選択し、[OSDロック]を[オフ]に設定します。

画面に残像が生じる	
モニターの電源を切っても残像が見える	・ 静止画映像を長時間表示すると、画面が損傷して残像が生じることがあります。 ・ モニターを長時間使用する場合は、OS でスクリーンセーバーを設定して、長時間同じ画像、映像を映さないようにしてください。

画面表示が安定せずに揺れる。ゴーストが表示される	
画面がちらつく	・ 選択した解像度がHDMI 1080i 60/50 Hz (インターレース) の場合、画面がちらつくことがあります。解像度を1080pまたは推奨解像度に変更してください。



ヒント

- ・ **垂直走査周波数**: 映像を表示するために、モニターは毎秒数十回画面を表示しなおします。1秒間で画面が切り替わる回数を「垂直走査周波数」または「リフレッシュレート」と呼びます。単位はHzです。
- ・ **水平走査周波数**: 横線1本を表示するためにかかる時間を「水平サイクル」と呼びます。1秒間で表示される横線の数、1を水平サイクルで除算することにより計算できます。これを水平走査周波数と呼びます。単位はkHzです。
- ・ OS上で[コントロールパネル]>[画面]>[設定]の順に選択して、グラフィックカードの解像度または周波数がモニターの許容範囲にあるかどうかを確認し、推奨される(最適な)解像度に設定してください。
- ・ グラフィックカードを推奨される(最適な)解像度に設定しないと、文字がぼやけたり、画面がかすれたり、表示画像が表示領域からはみ出したり、表示位置がずれたりすることがあります。
- ・ 調整の手順は、お使いのコンピュータまたはオペレーティングシステムによって異なる場合があります。また、グラフィックカードによっては、解像度がサポートされていない場合があります。この場合は、コンピュータまたはグラフィックカードの製造元にお問い合わせください。
- ・ PCやグラフィックカードによっては、解像度 3840 x 1600 をサポートしていない場合があります。この解像度を表示できない場合は、グラフィックカードのデバイスドライバを最新に更新するか、グラフィックカードの取扱説明書やホームページで解像度の対応状況を確認するか、PCまたはグラフィックカードメーカーにお問い合わせください。

画面の色が正常ではない

色が正常に表示されない

- ・ 信号ケーブルが正しく接続されているかを確認してください。
- ・ グラフィックカードがスロットに正しく挿入されていることを確認してください。
※ グラフィックカードの確認をする際は必ずPCの電源をコンセントから抜いて確認してください。
- ・ **[コントロールパネル] > [画面] > [設定]** (OSによって異なります) から、OS上の表示色を24bit または32bit のTrue Color に設定してください。

画面上に小さな点が表示される

- ・ 液晶パネルは高精度な技術で作られており、画面の一部にドット抜け (ごく小さな黒い点や赤、青、緑などの点) が見えることがあります。これは液晶パネルの特性であり、製品不良、故障ではありません。

OS上でモニターがうまく認識しない

「モニター認識されません。Plug and Play (VESA DDC) のモニターが見つかりました。」メッセージが表示される

- ・ 弊社のウェブサイト (<http://www.lg.com/jp>) からディスプレイのドライバーをインストールすることを確認してください。
- ・ グラフィックカードがプラグアンドプレイに対応しているか確認してください。

音声が出力されない

スピーカーまたはヘッドホン端子に接続した音声機器から音声が出力されない (音が聞こえない)

- ・ OSD ジョイスティックで音量を確認し、調整してください。
- ・ PC のオーディオの出力先を、使用中のモニターに設定します。Microsoft Windows で **[コントロールパネル] > [ハードウェアとサウンド] > [サウンド]** の順に選択して、モニターを既定のデバイスとして設定します。
- ・ ヘッドホン端子に外部音声出力機器が正常に接続されていることを確認してください。
- ・ Windows や PC の再生ソフトウェアの音量レベルを確認してください。
- ・ 変換コネクタで PC の DVI 端子と接続している場合は、DVI 端子が音声信号の伝送に対応していないため、音声は出力できません。

製品仕様

LCD画面	タイプ	TFT (Thin Film Transistor) LCD (Liquid Crystal Display) 画面	
	カラー階調	HDMI	約10.7億色または約1,677万色
		DisplayPort	約10.7億色または約1,677万色
	ピクセルピッチ	0.22908 mm x 0.22908 mm	
解像度	最大解像度	3840 x 1600 @ 75 Hz	
	推奨解像度	3840 x 1600 @ 60 Hz	
映像信号	水平走査周波数	30 kHz～130 kHz	
	垂直走査周波数	56 Hz～75 Hz FreeSync適用時(52Hz～75Hz)	
	同期	セパレート同期	
入力コネクター	H/P、HDMI入力1/2、DisplayPort入力、USB (SS) 1/2、USB Type-C (UPSTREAM SS)		
電源	電源定格	19 V --- 7.7 A	
	消費電力 (標準)	動作モード: 70 W (標準、USB非接続) (出荷時の状態) * オフモード: ≤ 0.3 W	
AC/DCアダプター	DA-180C19タイプ、APD製 出力: 19 V --- 9.48 A ACC-LATP1タイプ、SHENZHEN HONOR ELECTRONIC製 出力: 19.5 V --- 10.8 A		

環境条件	動作条件	温度	0～40℃
		湿度	80%未満
	保管条件	温度	-20～60℃
		湿度	85%未満
寸法	モニターサイズ (幅 x 高さ x 奥行)		
	スタンドあり	897.2mm x 596.3mm x 234.9mm	
	スタンドなし	897.2mm x 394.0mm x 91.5mm	
重量 (パッケージを除く)	スタンドあり	9.2kg	
	スタンドなし	7.7kg	

仕様は製品の品質向上のため、予告なく変更されることがあります。

～記号は交流を、—記号は直流を表します。

* 消費電力は操作条件や設定等によって変わります。

** USB Type-C接続の場合、スリープモードにおける消費電力量は接続機器によって変わります。

工場出荷時対応モード

(プリセットモード、HDMI/DisplayPort/USB Type-C、PC)

プリセットモード	水平走査周波数 (kHz)	垂直走査周波数 (Hz)	極性 (H/V)	備考
640 x 480	31.469	59.94	-/-	
800 x 600	37.879	60.317	+/+	
1024 x 768	48.363	60.0	-/-	
1152 x 864	54.347	60.05	+/+	
1280 x 720	45	60	+/+	
1280 x 1024	63.981	60.02	+/+	
1600 x 900	60.00	60.00	+/+	
1680 x 1050	65.29	59.954	-/+	
1920 x 1080	67.50	60	+/-	
1920 x 1080	83.894	74.973	+/-	
3440 x 1440	110.77	75.05	+/-	
3840 x 1600	50.39	29.99	+/-	
3840 x 1600	102.23	59.99	+/-	
3840 x 1600	102.24	60	+/-	
3840 x 1600	128.69	75	+/-	

HDMIタイミング(動画)

プリセットモード	水平走査周波数 (kHz)	垂直走査周波数 (Hz)
640 x 480p	31.47	60
720 x 480p	31.47	60
720 x 576p	31.25	50
1280 x 720p	45	60
1280 x 720p	37.5	50
1920 x 1080p	67.5	60
1920 x 1080p	56.25	50
3840 x 2160p	135	60

電源LED

モード	LEDの色
オンモード	白(数秒間)
スリープモード(待機モード)	白で点滅
オフモード	白で点滅

Wireless モジュール (WB1NP6) 仕様

Bluetooth	
使用周波数	無線出力
2400~2483.5 MHz	10 dBm 以下



製品のモデルとシリアルナンバーは製品の背面と側面にあります。サービスの場合に必要なからそれらを記録してください。

この装置は、クラスB機器です。この装置は、住宅環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に接近して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

V C C I - B

モデル _____

製造番号 _____

この製品に含まれるGPL、LGPL、MPLのソースコード、およびその他のオープンソースのライセンスを取得するには、<http://opensource.lge.com>をご覧ください。ソースコードに加えて、すべての参照許可の条件、保証の免責事項と著作権通知をダウンロードできます。LGエレクトロニクスはオープンソースコードを有償(メディア代、配送料、手数料込)でCD-ROMにて提供しております。ご希望される際は opensource@lge.com までEメールでお問い合わせください。提供の有効期間は製品ご購入日より3年間です。